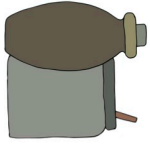
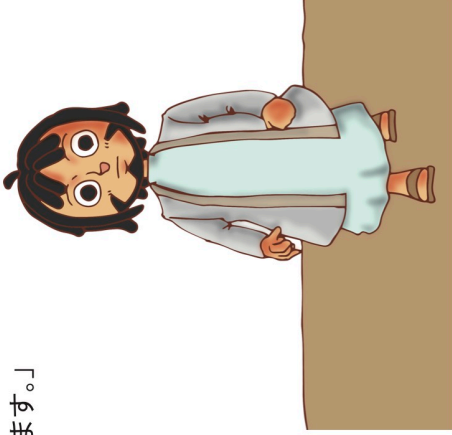


エリヤものがたり -2-

かめのこなとつぼのあぶら



神さまは、エリヤに
「こんどは、ツアレファアテ
というまちに行きなさい。そこに
女の人に、あなたのことをおねが
います。」



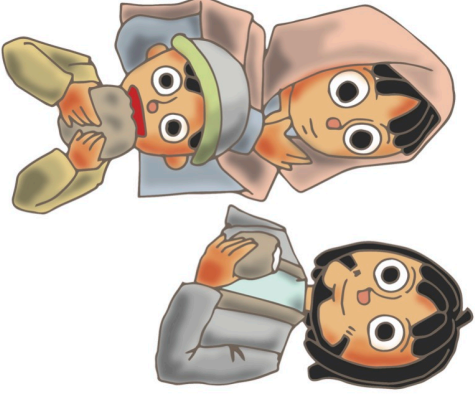
エリヤを通していわれた主のことばの
とおり、かめの粉は尽きず、つぼの油
はなくならなかった。1列王記 17 の 16

つでも守ってくださいます。カラエの
ようなとくべつな方法や、粉と油のよ
うなふしぎな方法で守ってくださいま
す。いつでも神さまに、たよりしまし
よう。



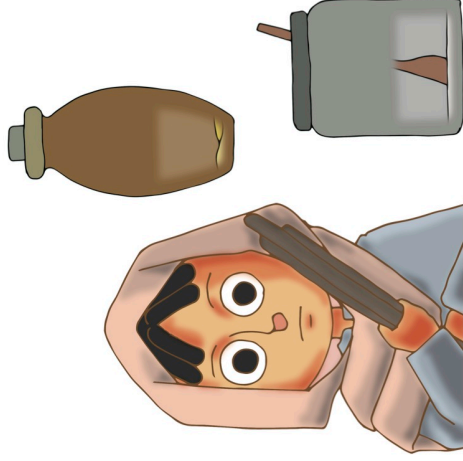
神さまは、私たちをい

エリヤが、ツアレファアの町につくと、
町の入口で、神さまがいていた女の
人に会いました。エリヤは、女の人に
「水をください。」と、たのみました。
女の人が水をくみにいこうとしたとき、
エリヤは、「一口のパンももってきて
ください。」といいました。



その日から、粉も、油もなくなりま
せんでした。エリヤと、女の人のか
ぞくは、まい日パンをたべることが
できませんでした。

すると、女の人がいきました。「パンは
ありません。うちにはもう、すこの
油と粉しかありません。子どもとたべ
て、おしまいです。」



エリヤはいいました。「しんばいしな
いで、パンをつくりなさい。でも、
まず私のために小さなパンをつくっ
てください。そのあとでふたりのぶんを
つくりなさい。」

「神さまが、いわれました。雨が、ま
たふるように
で、かめの
つぼの油
くなるこ
ありませ
粉も、
もな
とは、
ん。」



女の方は、神さまのことばを信じて、
「この粉と油でパンをやきました。」